

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	開発規制	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-01-02	氏名	樽家真佐人	
			電話	64-1833	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	広く市民のため、無秩序な開発を規制し、市民の健康で快適な生活環境を確保する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	健康で快適な生活環境を確保するため、都市計画法、宅地造成規正法、岡山県県土保全条例などにより開発規制が行われており、本市では上位法、条例等の規制対象とならない開発行為のうち、1,000㎡以上を市長の許可対象とし、小規模開発行為を規制している。今後も、自然環境の保護、優良農地の保全や治水、治山、公害の防止などに配慮し、無秩序な開発を規制していく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間開発行為の誘導を図りながら、周辺地域との調整、技術的基準について指導していく。</li> <li>自然環境の保全と産業活動の調和を図り、森林公園の整備や優良農地の確保に努める。</li> <li>公園、海岸などの緑地の保全と活用に努める。</li> <li>関係行政機関などと連携し、乱開発の防止に努める。</li> </ul>	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

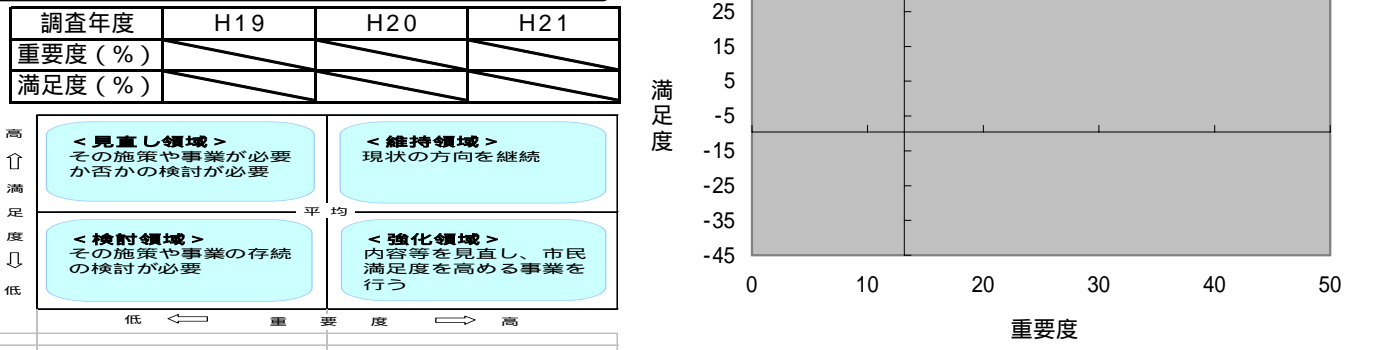
施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 開発指導事業	B	都計法開発申請指導事務	法定事務	0		20				
		県土保全条例申請審査事務	法定事務	0		0				
		市条例開発申請審査事務	法定事務	0	10,555	0	8,238			
		宅地造成規正法申請審査事務	法定事務	0		0				
		屋外広告物条例申請審査事務	法定事務	0		0				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17 10,555	H18 8,258	H19
------------------------	---------------	--------------	-----

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
地元区会、郵便局等	サポーターを依頼	早期発見による無届開発の防止
農林水産課	農地法、森林法等の申請事務と連携	事前指導の徹底が図れる

市民意識調査による施策の重要度・満足度



調査結果に対するコメント、市民の反応等

調査対象でない施策の場合は、市民の反応等

開発規制制度については、市民のみならず市外の人にも制度の趣旨が理解されていると思われ、相談はかなりのある。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 相談回答率	目標	件	100.0	100.0	100.0	100.0	回答件数/相談件数
	実績	件	100.0	100.0			
	達成率	%	100.0	100.0			
2 立ち入り件数	目標	件	0.0	0.0	0.0	0.0	無届開発を0にする
	実績	件	0.0	1.0			
	達成率	%	0.0	0.0			
3	目標						
	実績						
	達成率	%					
4	目標						
	実績						
	達成率	%					

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	開発規制については、広く周知できているようであり、事前相談等も多く回答も全て行われている。	3	ほぼ、相談件数に対して回答率をクリアできた。
2 事業構成の適当性	3	法、条例に基づくものであり適当	3	概ね妥当である。
3 施策の有効性	3	法、条例に基づくものであり施策として適当	3	概ね妥当である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		無届、無秩序な開発を防止するため、各区会郵便局などと協議を行いサポーター制の検討を行う必要がある		今後も、無届、無秩序な開発を防止するため、規制を監視する必要がある。
二次評価者コメント		ほぼ前年並みの予算配分が妥当である。		平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分